

4-4

◎百里原空



作戰緊急

宇佐空・串良空・龍空・名古屋空・國分第一、鹿屋各空基地。
吳鎮・横鎮・佐鎮・阪警・二三編隊

機密第〇四一一四一番電

發 百里原航空隊司令

宛 第一〇航空艦隊司令長官

天候不良ノ爲八FGB電令作第一〇號ニ依ル特別攻撃隊ノ基地進出
ヲ明五日ニ延期ス。

通二六四七 呂一B(B) 木更津 齋藤(飯田)

181

[Faint, mostly illegible text on the right page, possibly bleed-through or a very light stamp.]

4~4

石垣航空基地



作戦要旨

石垣航空基地

● 第五基地航空部隊臺灣方面飛行機配備基地

● 鹿屋、宮古各航空基地

機密第〇四一〇四七番電

石垣島基地戦同速報 (四日)

一〇八四五特攻隊零戦(直掩)一機歸着〇七三五頃地點「チム一カ」
附近ニ於テ空母四隻(内二隻確認セザル)航空母艦ノ算大ナリ)基
準ノ輪形陣ヲ發見向首艦艦中六〇一四機ト交戦僚機ト分離歸
投ス

三〇九四五道艦上機來襲アリ。
四二六二六 呂一三六七(一一三四五三〇)五PQB成 長谷川(森田)

4-4

鹿屋航空基地



緊急



第一機動基地航空部隊天作戦部隊作戦命令着信艦所



鹿屋航空基地

機密第〇四〇九三三番電

發 一 K F G B 參謀

三二軍報に依レバ現在慶良間方面在泊ノ輸送船ハ概ネ空船ナリトノコトナリ攻撃實施上注意アリ度。

通二五五一 於十五(七八七五) K F G B 放 岑(森) 田

作戰特別緊急

● 石垣航空基地



● 五基地航空部隊台灣方面飛行機配備基地
宮古島空基地

機密第〇四〇七二七番電

一 零戰爆裝二機對星二機（第一次沖繩方面索敵攻擊）發進
二 零戰一機宮古ヨリ歸着〇七〇〇。

五二五九一 於一五（一一三四七、五〇〇）五〇EB發 岸（吉）日

0244

4-4

通二五〇三 於一五九八三〇C (佐二波 等 (實 日)

敵艦、助、廣良間列島北側渡名喜島間、巡洋艦五隻、巡邏艇十二隻、
輸送船二〇隻、病院船二隻、海軍中巡洋艦三隻、哨戒中方位二〇〇度距離
五〇浬。

機密第〇四〇六二〇番

	謀長	佐	田	久
A	田	勇	山	米
B	田	勇	山	島
E	田	山	下	見
J	田	赤	坂	腰
G	田	赤	坂	所
D	田	赤	坂	

仲
方
田

敵艦〇八五〇 野上〇八五〇 田〇二二七 作

4~4
④ 沖根 P

④ 作戦緊急

天一 陣作戦部隊

沖根 P

機密第〇四〇二一〇番電 二分ノ一、二

二〇三〇迄ニ判明ヒル敵情

(一) 地上戦闘 敵ハ久場萩横安谷屋安仁合ノ線ニ進出中ニシテM一

テ四乃至五砲兵約一〇〇ハ西海岸線ニ沿ヒ南下中ニシテ進出線

度ハ三乃至四軒ナリ結果 人員殺傷四〇〇 戦車擱坐四

(二) 一三〇〇北飛行場小型機一乃至二着陸一六五四カミ山島小型機

二機着陸一八三〇 一機不時着陸

道 二四四五一 天二日々六 (四九一五K) 佐二取 清水・山藤 (飯田)

0247

4-4

局長	
一課長	
A	
B	
E	
J	
F	

傍

聯合艦隊

三一三三〇

了 一四五〇 電〇二五四二 本概

球参電第九七一號具ノ
 一敵機動部隊ハ「九州」攻撃以來相當ノ損害ヲ受ケアルモノノ如ク
 英艦隊ノ狀況ヲ觀察スルニ。

電信課駐 本電
 通二五六四 協作 (B) 佐通
 菅原 (上野)

4~3

傍

● 聯合艦隊 戸

● 佐 通

〇二一七二〇

通電先 參謀次長 臺灣軍 戰地第三攻勢集團 第九飛行團 聯合艦隊 第一航空艦隊

球參電第九五四號其ノ二

本方面ニ於ケル諸部隊戰果確認ニ努力スベキモ附近砲臺ノ關係上見
落シ無キヲ保難ク又視界外ノモノニ對シテハ處置ナキ現況ニアリ而
シテ戰果ハ當軍ノ作戰指導上極メテ重要ナル意義有スルニ付速報アリ
度尙從來モノ必要ナリ是非速報ヲ乞フ。

通一七七七〇 協作 (五二〇〇KC) 佐通 清水、齋藤(三石)

4~2

四二 開始一六四〇五

丁〇六四五 〇一四五一 作

作戰緊急

共

符

一 航空 艦 隊



〇一―二四四五

キウ参電第九三五號 其ノ一 四月一日 (七)

西部ニ於ケル第三二軍主力狀況左ノ如シ

一 敵揚陸部隊一日朝有力ナル一部ヲ以テ「湊川」地區ニ伴動上陸其

ノ主力ヲ以テ〇九〇〇頃ヨリ「北夕ニ」以北ノ北・中飛行場正面

ヨリ上陸ヲ開始一日夕刻迄ニ概ネ「北夕ニ・サタカワ」。

通一二二七 協作(一一三四七五)五FG放 廣田(川崎)

4-2

② 共通

球參電第九二六號 其ノ下三三
 通電先 臺灣軍第八飛行師團 第六航空軍 G.P. 一A.F. 五A.P. 參謀次長
 三月三十一日北、中飛行場方面集團軍ハ後退ノ準備状態トシ之ヲ爆破
 破壊セシモ敵ノ機械力ヲ以テセハ極メテ短時間ニ修復可能ナルモノト
 思考ス又之等制空ハ特編聯隊（航空地區部隊歩兵ヲ以テ編成）ハ戦力
 上徹底ヲ期シ難キ故ニ敵ガ陸上基地使用シ得ズ兩三日間ニ敵ヲ徹底的
 ニ攻撃大設備作戦御配應ヲ待度。
 （東通註 本電誤字甚ダ多シ）
 加藤・片山
 安川（金子）
 KC）佐二放
 九五二三四七・五
 八三〇〇七
 一〇六三
 一八二四
 協 作

信方

聯合艦隊
 五航空艦隊 P
 P

一一一八三〇

（Faint handwritten notes and stamps on the right page, including a circular stamp at the top and various illegible markings.)

4-4

佐通

沖
通

東

通

佐

一一七二八

通電先 一 A F 五 A F 靖誠

参考 G F 臺灣軍

キウ參電第九二三號其ノ一二三

一七〇〇現在中飛行場西側艦船出現情況左ノ如シ

B 一 二 〇 九 三 D 五 〇 T 八 〇 L O T 及 L O I 八 〇 L O P

及 L O A 四 〇 〇

泊地ニ於ケル輸送船攻撃時上陸大艇ノ迅速ナルニ鑑ミ日没後ノ攻

撃ハ遠船攻撃ニ符字不明輸送船ハ「ケラマ」集合地ニ入ル前及泊

地ニ於テハ午前中ノ攻撃其ノ他ハ至トシテ空母戦艦群ヲ攻撃ス

ル如ク御配慮ヲ得度

金子(杉本)

通自二六二二 至二六二三

協 作